

大震災と統一地方選

2011年4月

現職4氏が議席守る

接戦の末、丹羽氏届かず

豊橋市区

第17回統一地方選の県議会議員選挙の開票が10日行われ、東三河の豊橋、豊川、蒲郡、新城・北設楽、田原の5選挙区計11の議席が決まった。定数5に9人が出馬した豊橋市では渡会克明(公明)・鈴木孝昌(自民)・浅井由崇(民主)・かしわぐま光代(民主)の現職4氏が議席を守り、無所属元職・小久保三夫氏が見事返り咲きを果たした。2度目の挑戦だった自民・新人の丹羽洋章氏は58票差で惜しくも届かなかった。これで豊橋市の議席配分は自民(系)と民主が各2、公明が1という4年前と同じ議席配分、顔ぶれになった。宝飯郡との合区で定数が2から3に増えた豊川は小林功氏(自民)が5回目の当選を果たして議席を守り、無所属新人の藤原宏樹、愛知の会・新人の野中泰志の両氏が「大村与党」として念願の議席を手にした。現職の鈴木彰伯氏(民主)が涙を飲んだ。定数1の蒲郡、新城・北設、田原の3選挙区はいずれも激戦だったが、蒲郡は自民新人の飛田常年、新城・北設は無所属現職の峰野修、田原は無所属新人の山本浩史の3氏がそれぞれ栄冠を手にした。投票率は豊橋 \parallel 45・23%、豊川 \parallel 47・75%、蒲郡 \parallel 47・94%、新城・北設 \parallel 60・70%、田原 \parallel 62・46%だった。(2、11面に関連)

開票結果

豊橋市区(五-9)

当	18,341	渡会	克明	公現
当	18,235	小久保	三夫	無元
当	18,136	鈴木	孝昌	自現
当	16,204	浅井	由崇	民現
当	14,841	かしわぐま	光代	民現
	14,783	丹羽	洋章	自新
	10,842	山本	正樹	愛新
	9,492	山本	嘉和	み新
	9,204	伊達	勲	共新

(10日午後11時35分終了)



4選を祝福する花束を受け、渡会克明氏(豊橋市前田南1)

〈豊橋市区(定数5)〉

豊橋市選挙区(定数5)は現職4人がそろって当選し、無所属元職の小久保氏が見事に議席を奪回した。これで豊橋市は民主と自民(系)が各2、公明1と4年前と同じ議席配分になった。

過去最多の9人がしのぎを削る大激戦だった。民主、自民、公明の既成政党に対し、大村秀章知事率いる地域政党・日本一愛知の会や、県議選初参加のみんなの党の公認候補が挑む構図となって選挙戦が展開された。

大きな変化も予測されたものの、告示直前に起きた東日本大震災の影響から、民主党への逆風、地域政党の順風がともに吹きやんだ形。選挙の争点は防災対策へとシフトし、投票率の低下もあり、現職が実績を持たない新人よりも有利に選挙戦を進める展開となった。(藤田彰彦)